

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5 年 11 月 29 日

アンケート期間:令和 5 年 10 月 20 日～令和 5 年 11 月 20 日

事業所名 ルシエル 横根

保護者等数(児童数) 3(3) 回収数 2 割合 66.6 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	1			1	子どもが利用する日に、どれぐらいの人数が利用があって、年齢層もどのぐらいの学年の子が来てるのか分からないので、なんとも言えません。	人員基準を守り、活動等のスペースが確保できるように対応しております。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか				2	子どもが利用する日に、どれぐらいの人数が利用があって、年齢層もどのぐらいの学年の子が来てるのか分からないので、なんとも言えません。	支援は資格を持った職員が行っております。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	1			1	活動の空間は、しっかり分けられていて、良いと思います。	ありがとうございます。今後も継続していきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	2					衛生的で快適な空間となるよう環境の整備を行っております。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	2				ニーズにそった計画をたてていただいています。	ありがとうございます。今後も継続していきます。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	1			1	ガイドラインの内容が分からないので、なんとも言えません。	ご利用者の特性に配慮しながらそれぞれの項目において必要な支援が行われるように計画しております。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	2					発達段階・特性に応じて支援計画を作成しそれに沿って支援をおこなっております。
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	2				いろいろな活動があって、よいと思います。	ありがとうございます。今後も継続していきます。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			1		1	公団などに遊びに行く時に、少しかかわりがあるかな?というくらいです。
10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	2						契約時に説明を行っております。
11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	1				1	ガイドラインの内容が分かりません。	
12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	1			1		保護者に対しては、モニタリング以外、特に何もありません。	
13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	2					ヴィジョントレーニングの課題は、いつもプリントに書いてもらえるのでよく分かります。	ありがとうございます。今後も継続していきます。

保護者への説明等	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか		1	1	連絡帳で、教えていただくことは時々ありますが、面談は特にはありません。	ありがとうございます。今後も継続していきます。	
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか			1	他の利用者のことは一切わかりません。行事に、日経的に参加できてないのがあります。	保護者様同士がつながりを持ってよう場を検討しております。	
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	2				こちらから連絡を入れた際は、すぐに対応していただいています。	ありがとうございます。今後も継続していきます。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	1	1			保護者とは、lineですぐに連絡がとれます。子どもはどうかよく分かりません。	連絡帳を使用し情報の伝達を図るほか、送迎時に口頭でもお伝えております。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	1			1	インスタグラムで、活動内容をあげてもらっているので、嬉しいです。	ありがとうございます。今後も継続していきます。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	2					個人情報の取り扱いには十分配慮し、個人情報が含まれるものに関しては鍵付きの書庫に保管している。また、個人情報の取り扱いについて職員に徹底しております。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	1			1	特に説明も聞いた覚えがないので、よく分かりません。	各種マニュアルは作成しており年に2回訓練計画しております。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	1			1	特に説明も聞いた覚えがないので、よく分かりません。	定期的に災害や地震についての、避難訓練を行ったり、避難場所や防犯面の確認を、お子様やスタッフを含めて、訓練を実施しております。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	1		1		行き渋りされるのですが、行ったら行ったで楽しんでる感じはします。行き渋りの原因が分かります。	全てのお子様楽しく通っていただけるような事業所となるよう努力していきます。
	23	事業所の支援に満足しているか	1	1			支援内容は満足です。	ありがとうございます。今後も継続していきます。

〇この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 5 年 11 月 22 日

公表:令和 5 年 11 月 29 日

事業所名 ルシエル 横根

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		法令を厳守し、スペースの確保をしております。	
	2 職員の配置数は適切である	○		お子様が安心して過ごしていただけるよう、人員数を配置しております。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		活動の流れを視覚的に支援している他、教室内容を構造化し負担なく行動できるようにしております。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		お子様が過ごす空間・オモチャなどは毎日消毒を行ない、活動内容に合わせて臨機応変に空間作りをしております。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎日の振り返り、朝のミーティング等で共有しております。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		現在、ホームページにて掲載しております。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		現在は行っていません。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		支援内容や特性理解のための研修を行っている他、自己研鑽のための研修も行っております。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		利用者様や保護者様への聞き取りは必ず行い、発達段階を踏まえたうえで、それぞれの特性に合わせ計画を作成しております。	
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		ご利用者様の特性に配慮しながらそれぞれの項目において必要な支援が行われるように計画しております。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		支援計画を全職員で共有しており、計画内容を把握したうえで支援に取り組んでおります。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている			毎月、職員間でイベント案を出し合い、ご利用者様が楽しく活動することができ学んでいけるようなイベントを取り入れております。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している			偏ることなく様々なイベントを考案している。また、全領域にわたって支援を行えるようにプログラム内容を工夫しております。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		児童発達支援管理責任者が中心となり、定期的に活動の様子や成長等をスタッフ間で話し合い、お子様の支援計画を作成しております。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝礼時に活動内容共有を行っております。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		終了時に様子や活動内容を報告し、共有しております。	送迎業務などで時間を作れない事もあります。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		連絡帳に活動内容や様子を記録している。また、活動内容を振り返り、出てきた課題について検証を行い改善策の検討を行っております。	
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		職員と児発管で支援内容の検討及び見えてきた課題について常に協議を行っております。		

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○				
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○				
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○			現在、医療的ケアの必要なお子様の受け入れをしておりません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○			現在、医療的ケアの必要なお子様の受け入れをしておりません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			関係機関と連携して支援しております。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○			対象となる児童が現在はおりません。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○				
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○			たがいにサービス提供時間が異なるなかどのような交流ができるか検討しております。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○			現在、参加をしていない。今後参加を検討しております。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			送迎時に時間を設けております。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○			ペアレントトレーニングといったしっかりとしたプログラムは行っていないが、療育内容について情報の共有をご家庭と行えるようにしております。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			契約時に丁寧な説明を心掛けております。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			計画説明後、同意のサインをいただいております。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			送迎時の他、必要に応じ相談の機会を持ち助言を行っております。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○			現在、保護者会は設置しておりません。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			送迎時にお話をうかがう他、必要に応じて面談の機会を設けております。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			行事予定はカレンダーで伝えていきます。活動はSNSを通じて行っております。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○			個人情報の取り扱いには十分配慮し、個人情報が含まれるものに関しては鍵付きの書庫に保管している。また、個人情報の取り扱いについて職員に徹底しております。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			連絡帳を使用し情報の伝達を図るほか、送迎時に口頭でもお伝えをしております。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○			地域との交流は行っておりません。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		各種マニュアルは作成しおり年に2回訓練を計画しております。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		定期的に災害や地震についての、避難訓練を行ったり、避難場所や防犯面の確認を、お子様やスタッフを含めて、訓練を実施しております	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		アセスメント時に確認を行い職員に共有しております。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		保護者方から聞き取り行っていますが、医師指示書もっていません。今後、必要であれば提出して頂きます。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		記録用紙を設置しております。	ヒヤリハット案件が発生した場合は職員間ですぐに情報共有を行い問題点、改善点を検討していきます。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		全職員が虐待について外部研修・社内研修を行い、日頃から虐待防止の適切な対応をしております	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		職員間で身体拘束を行う際の基準を共有している。また、計画に記載し、説明を行っております。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。